

## 建設進む東北経済

岡山県大連ビジネスサポートデスク  
小林 和暁

瀋陽・大連における地下鉄の建設の進展と開通、大連～ハルピン間高速鉄道の建設、大連新空港の建設、東風日産の大連工場の建設など、今後数年間は遼寧省で目玉プロジェクトが目白押しである。

先陣を切るのは大連～ハルピン間高速鉄道である。本年12月の開通を目標に調整が続けられており、大連市内では高速鉄道ターミナルとなる大連北駅が完成し、高速鉄道を受け入れる準備ができた。瀋陽では瀋陽駅、瀋陽北駅の改修が進んでおり、完成後はより使いやすい現代的な鉄道駅となる。高速鉄道開通後、現在4時間強かかる大連～瀋陽は約2時間程度に、9時間かかる大連～ハルピンは約4時間程度に短縮される。

瀋陽では東西・南北方向の地下鉄2路線が既に開通し、瀋陽駅、瀋陽北駅と市中心部の青年大街、繁華街の太原街といった場所を結ぶようになった。更に路線建設が進められており、将来は瀋陽桃仙空港などの交通ターミナルを結ぶほか、周辺のニュータウンを結び交通を改善、道路渋滞を緩和する。瀋陽桃仙空港でも新ターミナルの建設が行われており、交通インフラは今後大幅に改善される。

大連でも同様に地下鉄2路線と旅順口区を結ぶ都市鉄道の建設が進められており、前述の大連北駅や大連空港と市中心部、郊外であり観光地の旅順を結ぶ。2015年頃の開通が見込まれているが、大連の地下は複雑な岩盤で難工事だと言われている。同じく建設中なのが大連新空港である。金州新区の渤海を埋め立てて造られる海上空港で、完成後の旅客便はすべて新空港へ移動、現空港は貨物専用空港になる。ただし、現時点では完成時期は不明である。

交通インフラにこれだけの投資が入るのは、これまで遼寧省の各都市の市内交通、都市間交通が大変不便だったためである。中国東北部でも自動車は激増しており、大連市では1日400台、2012年の大連モーターショーでは期間中に8000台もの乗用車が販売された。ますます道路交通事情は悪化し、渋滞がひどくなっている。

大連に建設中の東風日産の工場は、2014年の製造開始を目指している。金州新区の大窑湾岸に建設され、すぐ近くには大連港大窑湾の自動車埠頭もあり物流にも便利である。同社の関連企業がすでに周辺の開発区の調査を始めているが、東風日産のプロジェクト自体が遅れ気味との情報もあり、また現地に進出している日本企業への波及効果はまだ聞こえてこない。

瀋陽市ではその拠点性の向上により都市の拡大が続いている。中心部を離れた地域では今もたくさんのマンション建設が続いているが、“需要は付いてきている”そうである。瀋陽市付近では周辺各都市との経済の一体化が進められており、経済の集積効果により今後も成長を続けるものと思われる。

2012.9.16



完成した大連北駅。高速鉄道開通時に使用開始になるものと思われる。